

地域づくりから地域自治会へ ～二年間を振り返って～



平成二十三年四月故中平龍興自治会長はじめ長野原小林区長・時又大見区長・上川路長谷部区長・桐林高島区長五人で、竜丘自治会が発進いたしました。「竜丘」という地域を、そこに住んでいる人たちが自ら、自分の手でつくっていく」中平会長のテーマに数々の問題点に対応してまいりました。竜丘地区には自治会と地域づくり委員会があり、この二つの組織を一本化して、「竜丘地域自治会」と命名しました。又地区の現状と課題、将来像を示した基本構想の策定に入りました。前年度の「竜丘のめざすもの」を参考にし、作成中です。又桐林クリーンセンター基本

笑い合い
語り合う二年間
地域づくり委員長
高島勝秀

私達は安全のための活動をしてきたが、あちこちから報じられる恐ろしい事件事故に触れる時、あらためて地域の安心安全の大切さを知り、普通の生活ができることの有難さを実感しました。お互いの幸せのため、これか

安全委員会
委員長 三浦廣美
二年間、事業の目標に向かって何とか活動を続ける事ができました。これもひとえに地域の皆様のお力添えと、当委員会の皆さんの

各委員長総括

協定の五年毎二回目の見直し、この三項目の問題は中平自治会長の念願課題でした。日常の問題点に取組むと同時に、前記した三項目の問題にと、忙しい毎日の中、中平会長が体調を崩し入院。体調を整えて区長会に復帰していただけるものと信じていましたが、昨年十二月二十二日残念なことに帰らぬ人となってしまいました。四人の区長は突然の訃報に接し、ただ茫然とするばかりでした。しかし

今年度は更に竜丘地区に少しでも役に立つ福祉健康委員会を目指して活動して参りました。一つには、先月お届け致しました福祉健康「よ」に「まめ」があるように高齢者の問題について取り組みました。来年度以降は、このアンケート結果に基づき高齢者が安心して暮らせる竜丘を目指して、出来る事から取り組んでいきたいと思っています。二つ目にはいつまでも健康でいられる様に、健康維持のための活動と、積極的に様々な検診を受診して頂

福祉健康委員会
委員長 今村正道
今年度は更に竜丘地区に少しでも役に立つ福祉健康委員会を目指して活動して参りました。一つには、先月お届け致しました福祉健康「よ」に「まめ」があるように高齢者の問題について取り組みました。来年度以降は、このアンケート結果に基づき高齢者が安心して暮らせる竜丘を目指して、出来る事から取り組んでいきたいと思っています。二つ目にはいつまでも健康でいられる様に、健康維持のための活動と、積極的に様々な検診を受診して頂

竜丘自治会を止めるわけにはいきません。駄科吉川さんを区長に、桐林クリーンセンター五年毎二回目の見直しも十二月二十二日に調印を終え、故中平会長の数々の思いを実現できましたことは、竜丘区民の皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。個性派揃いの五人の区長、腹の底から笑い合い、語り合う二年間でした。次年度地域自治会の皆さん、ご健勝で活躍をお祈り申し上げます。



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口 7,057人
男子 3,429人
女子 3,628人
世帯数 2,444戸
(25年2月末現在)

ける取り組みを進めて参りました。更には、新年度から結婚相談事業を担当する事となりましたので、結婚相談員と協力して事業を進めて参ります。

環境委員会

委員長 今村康雄

二十四年度、環境委員会では、不法投棄撲滅を目指し活動してきましたが、発生した不法投棄されたゴミを処理する事のみが多く、その対策防止を検討し実施する事ができませんでした。「何故、人はゴミを捨ててしまうのか」根本的な原因を地域で考えて実行する事が必要だと思っています。次年度の委員の方に期待しています。二年間、ありがとうございます。

更なる高みを目指して

竜丘公民館長 木下和彦

今年度の公民館事業は、分館役員が二年目ということもあって極めて順調に推移しました。過日の飯田市民館大会の分科会で、島岡文化副委員長が「文化祭に込められた思い」と題して文化祭を中心とした文化委員会事業について発表しました。他地区の委員からは「素晴らしい」という評価をいただきました。ずっと竜丘で活動している皆さんは当たり前ですが、他地区から見れば一段上の活動に見えるようです。

運動会の取り組み、人形劇フェスタの取り組み、古墳まつり、水辺楽校イベントの学習活動等、いずれも充実した内容です、ぜひ今後も継続していただきたいと思っています。来年度は、いよいよ「竜丘古墳の会」が活動を開始

します。この難しい課題をどう克服していくのか公民館の真価が問われる年になりそうです。

公民館活動

運動の目的は、住みやすいと誰もが実感できる環境の地域づくりとされています。

そのためには、地域で困っていることを取り上げて、解決に向けて努力するのも大切な公民館活動だと思っています。



文化委員会

委員長 中島かおり

今年度も地域の多くの皆様のご参加ご協力により、どの事業も盛況で終えられた事に感謝申し上げます。市民大学講座では、木下睦奥先生の著書「地域と公民館」を基に、睦奥先生はじめ六名の先輩方にお話し頂きました。文化祭の分館展示では、レベルの高い独自の調査、研究、活動を発表して頂きました。文化委員会の役割の一つに学びの場を提供する事があります。皆様と一緒に竜丘を学んで行きましょう。

体育委員会

委員長 大平誠

今年一年色々な行事に取り組んできました。夏季スポーツ大会では計画に少々無理があり、各分館の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。運動会では中学生に実行委員会に参画し私た

民俗資料保存委員会

委員長 下平久雄

「丘の語り部たち」第五集につきましては、多くの皆様に寄稿を頂き誠にありがとうございます。新年度は四月に、「丘の語り部たち」第五集を発刊予定です。

このシリーズは、皆様方のご協力により好評です。今回もご愛読くださいますようお願いいたします。その他、自由画保存のためレプリカ三〇〇点を制作し、特別企画展を開催しました。

広報委員会

委員長 増田正昭

今年度、広報委員会では六回の館報を発行しました。竜丘地区で行われた行事・活動を区民の皆さんによりわかりやすく又、記録として残していけるようにと心がけて紙面づくりにつとめてまいりました。次年度より委員の選出方法を変更し各分館より二名・計十名の委員で活動をしていく事になりました。今までの伝統をまもりつつ、新しい風を取り入れて質の向上に努めてまいります。

育成委員会

委員長 林和志

昨年度は台風接近により水辺の楽校イベントが中止となりましたが、今年度は全事業を終了することができました。各イベントも多くの子供たちが参加し、「地域の子供は地域が育む」と言われますが、その一端を担うことができました。来年度からはメンバーも一新されますので、楽しく充実した活動を期待しています。二年間に亘り、多くの方に協力頂きましたこと感謝申し上げます。



ヤフー 近年リニア中央新幹線や三遠南信自動車道と飯田下伊那地区の生活環境の変化の波が押し寄せて来ています。取り組みを考えることが迫られています。その中で竜丘地区の目指すものは何か？昨年度より竜丘地区の基本構想の策定に向け協議され、完成が待たれる時です。竜丘地区の中では、以前より二つの古墳団体が地区の宝である古墳を後世に残す活動を進めてきていましたが、新年度を迎え、新たに古墳団体を設置する準備が進められています。現在竜丘地区内には、大小一四二基古墳が在り、内九基の前方後円墳は歴史的に見ても当地区が栄えてきたことが良く解かります。歴史的価値もある古墳を、地域の財産として、地区外の人々にPR出来れば、観光資源としても新たな進展があるのではないのでしょうか。そのためには、地元の我々が「古墳とはなんぞや」から始まり、古墳が数多く作られたのは何故なのか、また馬具などの副葬品から解かるように、馬の生産及び集積地ではなかったのかなど、学習する必要があります。まずは古墳に興味を持ち、地域の歴史を知り、竜丘がこれからどうあつたらいいのか、考えてみてはいかがでしょうか。新古墳団体では勉強会を含め、いろいろな取り組みを模索中ですので。我・私とは思われる方は、新古墳団体に参加されてはいかがでしょうか。新たな取り組みが実を結ぶことを期待します。

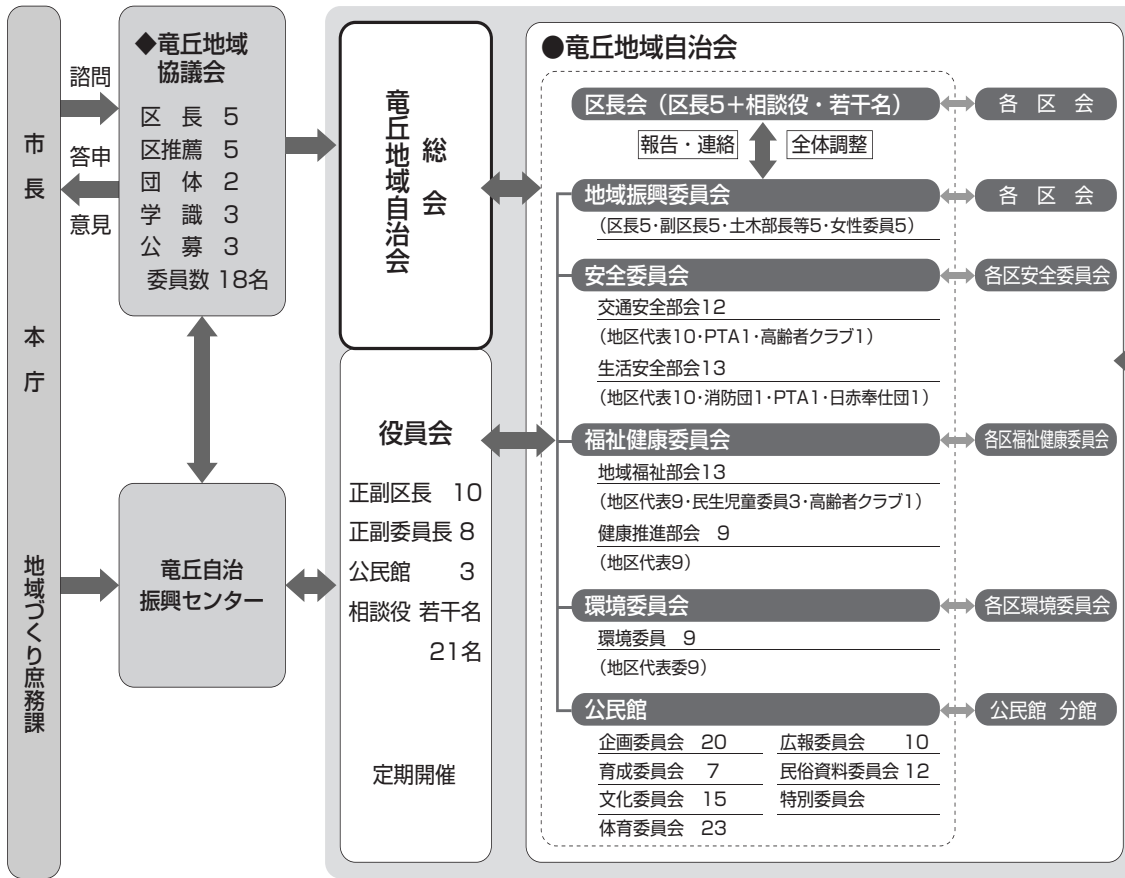
組織再編 「竜丘地域自治会」に

四月から
新体制スタート

昨年の六月から検討を行ってきた住民自治組織の統合化については、竜丘自治会と竜丘地域づくり委員会との役割と機能を継承するため、新たな住民自治組織である「竜丘地域自治会」を立ち上げ、平成二十五年四月からその活動がスタートすることとなりました。三月下旬には、自治会及び地域づくり委員会の事実上の解散総会が行われ、関係する議案が全て可決されました。

このたびの組織の統合化により、予算が一本化できるとともに、業務の効率化を図られ、関係者にとっては、会議の負担軽減が可能となります。統合化による各区における役員体制等には変更はありませんが、引き続き、住民自治活動に対して、ご理解とご協力をお願いいたします。

竜丘地域自治組織図



第一回ワンフンドオープン開催 ユニークなバレー

ワンバウンドから始める
ユニークなバレー

二月十七日に竜丘小学校体育館でワンバウンドから始めるユニークなバレーが開催されました。スポーツ推進委員の下平眞千子さんが、竜丘でワンフンドの普及を進め、出来た幾つかのグループに声をかけ、初めて大会が開催されました。

とり一回しか触れられませんが、ボールのスピードが落ち扱いやすいのと、ワンバウンドしてからプレーするため、ボールの弾む方向が読めないため、バレーボールが得意な人が必ずしも優

位でない、みんなで楽しめるスポーツです。大会では、十二チームがそれぞれのレベルに別れ三つのリーグで戦いました。本格的なリーグではハイレベルな駆け引きが、親子リレー

ています。また、毎週、親子で楽しむクラブも活動しています。日頃の運動不足の解消や親子で楽しむため、参加してみたいかがでしょうか。お問い合わせは公民館まで。

去る、三月三日、恒例の天竜川美化活動が実施されました。水辺の楽校近くの河原周辺の雑木の伐採と焼却、枯れ草の片付けを多くの竜丘地区に関わる方々で行いました。参加者のなかに、緑ヶ丘中学校の生徒も六十二名おられ、若い力も加わって、荒れていた河原が二時間後には、見違えるほどきれいになりました。

この活動に参加して、地域の力を感しました。

第五十回記念 飯田市公民館大会

去る二月十七日に飯田市公民館にて飯田市公民館大会が開催され、多くの公民館関係者が参加しました。「あの東日本大震災から、人と人との絆、地域と地域との絆がより強く意識された。公民館活動を通じて絆を深め、精神的な豊かさを育む必要を感じている。」と牧野市長からの挨拶に始まり、飯田市教育功労者、第二十八回ムトス飯田賞の発表が行われました。

続いて行われた県内外の公民館実践発表では、どの地域でも、住みやすい地域とするために何ができるのかと、活発な活動をされていました。驚く事にその方々が「公民館のことは五十年の歴史を持つ飯田に学べ」と口々に言われていたのです。文化委員の高橋さんによると昭和二十五年の社会教育法改正から、飯田市では「自分達の将来を自分達で創る」を目的に、積極的に取り組んできた成果であるとも聞き、そんな地域であることを誇りに思いました。

分科会では、副文化委員長の島岡伸一さんが文化祭などの活動発表を行いました。他の地域でも、イベントの開催、多くの参加者を集めることなど、悩んでいる事が多く、活発な意見交換を行いました。

「あらゆる新しいこと、素晴らしいこと、美しいことは一人の熱狂から始まる」といわれます。それは公民館活動にも繋がるものではないでしょうか。大会で実践発表、活動発表をされた方達は皆そうであったと思います。また、私が携わった中でも木下館長を始め、多くの熱き思いを持った方々がいらっしゃいました。

公民館大会に参加して多くの熱狂者に出会うことができ、良い経験をさせていただきました。育成林

地元の川をきれいに 天竜川美化活動

去る、三月三日、恒例の天竜川美化活動が実施されました。水辺の楽校近くの河原周辺の雑木の伐採と焼却、枯れ草の片付けを多くの竜丘地区に関わる方々で行いました。参加者のなかに、緑ヶ丘中学校の生徒も六十二名おられ、若い力も加わって、荒れていた河原が二時間後には、見違えるほどきれいになりました。

この活動に参加して、地域の力を感しました。

平成24年度 竜丘地域づくり委員会決算

【10歳入】 (単位:円)				
科 目	決算額	予算額	比 較	説 明
01 会費収入	0	0	0	
02 補助金および交付金	17,284,563	17,191,500	93,063	
1 パワーアップ交付金(交付金A)	6,037,000	6,037,000	0	飯田市からの交付金
2 補助金(交付金B)	4,245,063	4,152,000	93,063	各種補助金
3 自治会費	7,002,500	7,002,500	0	自治会からの補助
03 繰越金	3,581,495	3,581,495	0	前年度繰越金
04 繰入金	9,900	0	9,900	
05 寄付金	0	0	0	
06 預金利息	889	3,005	-2,116	
07 雑収入	507,862	488,000	19,862	手数料、使用料、報償金ほか
歳入合計	21,384,709	21,264,000	120,709	
【20歳出】 (単位:円)				
科 目	決算額	予算額	比 較	説 明
	3,979,639	4,558,500	-578,861	
01 報酬	2,330,000	2,582,500	-252,500	委員報酬
02 賃金	0	0	0	
03 手当	99,000	99,000	0	文書配達手当
04 報償費	0	0	0	
05 旅費	0	0	0	
06 交際費	98,500	124,000	-25,500	慶弔費ほか
07 会議費	434,485	494,000	-59,515	諸会議費用
08 消耗品費	587,507	700,000	-112,493	事務用消耗品ほか
09 燃料費	0	0	0	
10 印刷製本費	0	30,000	-30,000	印刷、コピー料ほか
11 光熱水費	0	0	0	
12 修繕料	52,258	60,000	-7,742	施設、備品等の修繕
13 通信運搬費	3,558	20,000	-16,442	委員への会議通知ほか
14 手数料	7,875	34,000	-26,125	振込手数料ほか
15 保険料	0	0	0	

科 目	決算額	予算額	比 較	説 明
16 賃借料及び使用料	173,176	175,000	-1,824	事務機器等借上料ほか
17 維持管理費	0	0	0	
18 備品購入費	98,180	100,000	-1,820	備品購入費
19 雑費	95,100	140,000	-44,900	区への謝礼ほか
01 総務企画委員会費	13,559,409	13,487,000	72,409	
01 総務企画委員会費	3,134,645	2,950,000	184,645	
10 事業運営費	1,403,376	1,100,000	303,376	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	1,731,269	1,850,000	-118,731	補助金等
02 安全委員会費	1,640,865	1,716,000	-75,135	
01 安全委員会費	1,640,865	1,716,000	-75,135	
10 事業運営費	1,040,865	1,116,000	-75,135	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	600,000	600,000	0	活動費(区委員会へ)、補助金
03 福祉健康委員会費	3,002,939	2,898,000	104,939	
01 地域福祉部会費	2,699,247	2,558,000	141,247	
10 事業運営費	1,247,247	1,106,000	141,247	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	1,452,000	1,452,000	0	活動費(区委員会へ)、補助金
02 健康推進部会費	303,692	340,000	-36,308	
10 事業運営費	128,692	159,000	-30,308	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	175,000	181,000	-6,000	活動費(区委員会へ)
04 環境委員会費	992,595	1,118,000	-125,405	
01 環境委員会費	992,595	1,118,000	-125,405	
10 事業運営費	230,587	368,000	-137,413	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	762,008	750,000	12,008	活動費(区委員会へ)
05 公民館費	4,788,365	4,805,000	-16,635	
01 公民館費	4,788,365	4,805,000	-16,635	
10 事業運営費	3,241,388	3,225,000	16,388	諸事業運営費
40 負担金補助及び交付金	1,546,977	1,580,000	-33,023	活動費(区分館へ)、補助金
03 予備費	83,075	3,018,500	-2,935,425	
04 積立金	200,000	200,000	0	
歳出合計	17,822,123	21,264,000	-3,441,877	
次年度繰越金	3,562,586			